

広島市植物公園

見どころ案内

シクラメン・ヘデリフォリウム

(サクラソウ科)

流通名を「秋咲きシクラメン」と言い、暑さ寒さや病気にも強い、育て易いシクラメンの原種です。また、花色や葉の違いで沢山の種類があります。

オジギソウ (マメ科)

7~10月にピンクの丸い花を咲かせます。葉は接触、熱、風、振動などの刺激によって小葉が先端から順番に閉じて最後に葉全体がやや下向きになります。そのため、種小名は内気なとつけられています。

カカオ

(アオイ科(以前はアオギリ科))
熱帯アメリカ原産。幹に多くの淡い赤紫色や山吹色の実を直接つけています。果実はチョコレートの原料です。

サガリバナ

(サガリバナ科)

熱帯・亜熱帯に分布する常緑樹。日本には奄美大島などの川沿いに自生。花弁は白~淡紅色で放香を放ちます。夜に咲き、翌朝には落花します。

ヘリコニア・ロストラータ

(オウムバナ科(以前はバショウ科))

ハワイやペルー原産。一房に十数個の目立つ色の苞がついています。

アネモネ・フペンシス (キンポウゲ科)

中国原産。花卉のように見えるのはがく片に相当します。シュウメイギクはこのアネモネ・フペンシスの変種に分類されています。

オミナエシ (オミナエシ科)

黄色の花を咲かせています。秋の七草の一つであり、日本人には馴染み深い植物です。

タイタンビカス

(アオイ科)

アメリカフヨウとモミジアオイの交配種。鮮やかな赤、白、桃色の大きな花が咲いています。暑さに強く、真夏にも咲き続けます。

変化アサガオ

展示会(9月)よりも早く咲きだした鉢を展示しています。お楽しみください。

マツリカ (モクセイ科)

インドから東南アジア原産です。白い花は香が強く、ジャスミン茶(茉莉花茶)などに使われます。

球根ベゴニア

(シュウカイドウ科)

花に香りのある珍しい球根ベゴニアが開花中です。

ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー、ラッキーブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸びつつ、大きなカーテンを作っています。

